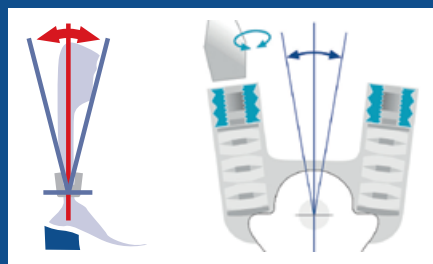
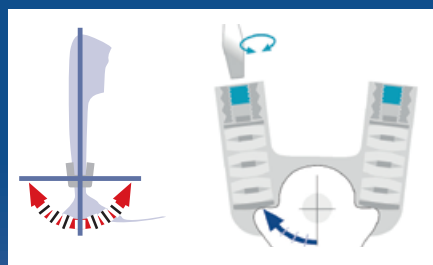


調整可能な3要素

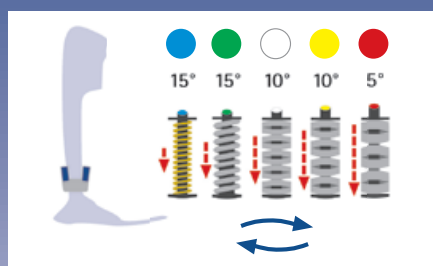
全ての調整を個々に行うことができ、互いに干渉しないように設計されています。



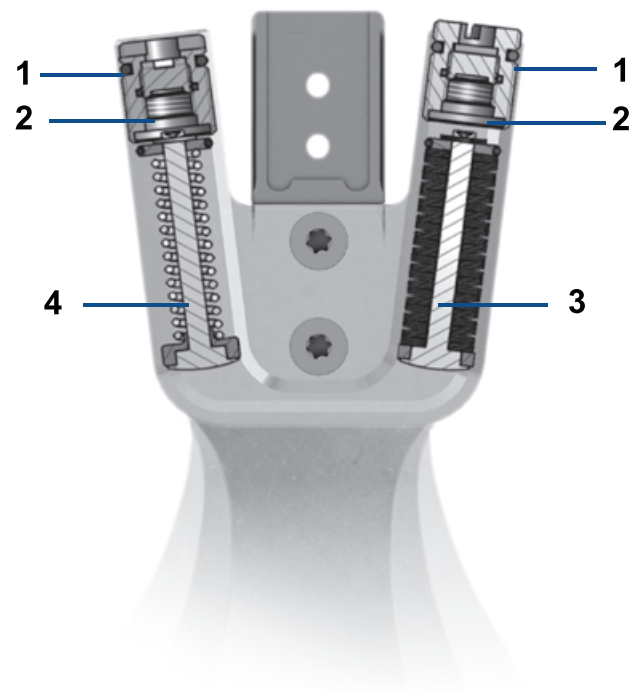
アライメントの調整



底背屈の可動域調整



スプリングの調整



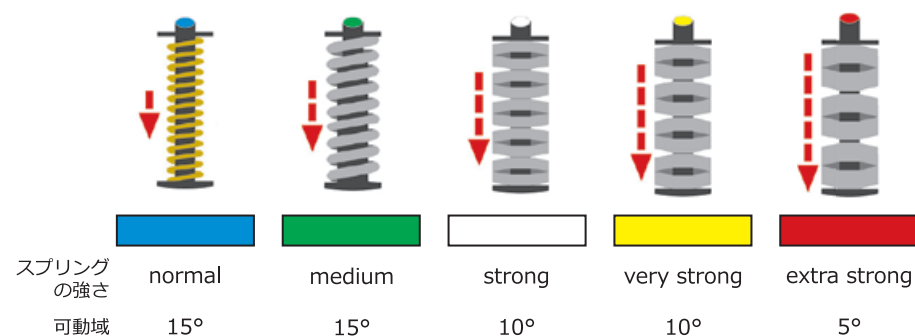
調整方法

調整箇所

- アライメント調整ネジ (1)
- 底背屈可動域調整ネジ (2) ※可動域は用いるスプリングにより異なる
- スプリングの調整 (3) (4)

特性

- 底屈・背屈それぞれにスプリングを装填できます。
- スプリングは5種類あり、歩容に応じて選択できます。
- 各スプリングごとに設定されている可動域の中で微調整できます。
- スプリングがエネルギーを蓄え、そのエネルギーが解放される力を利用して底背屈運動を補助します。



ニューロスイング 足継手

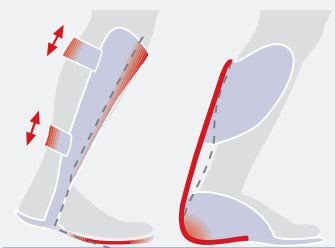
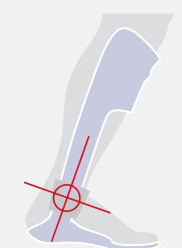
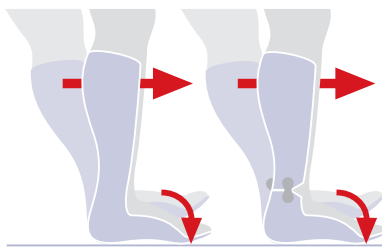
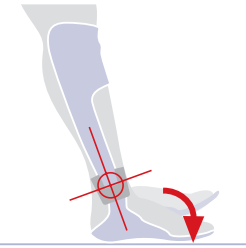
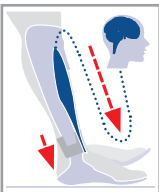
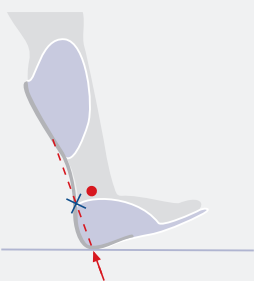
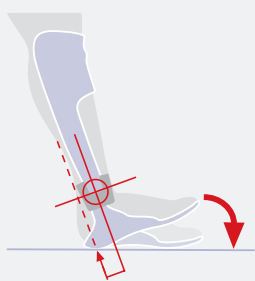


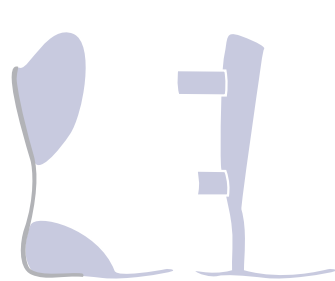
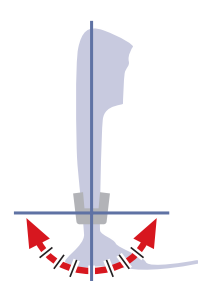
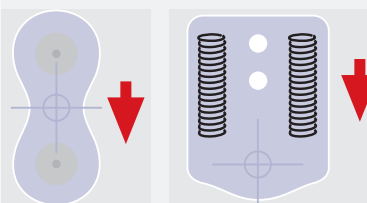
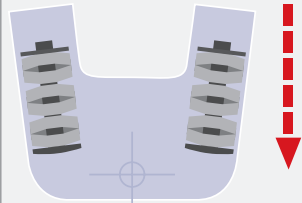
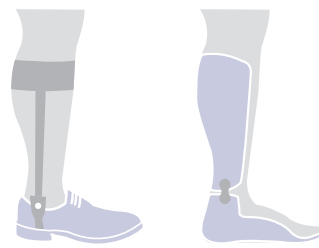
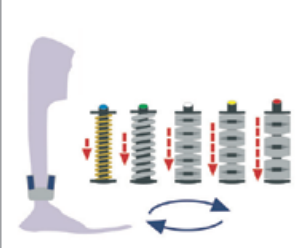
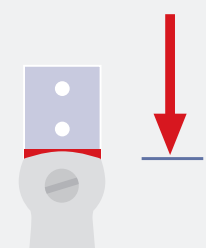
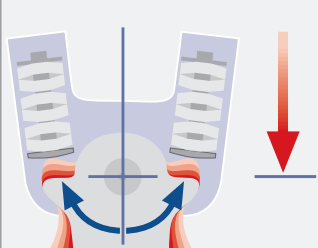
平成27年度より
完成用部品指定

株式会社松本義肢製作所
しあわせをかたちにする人と技術の会社です

〒485-8555 愛知県小牧市大字林210番地の3
tel. (0568) 47-1701 (代) fax (0568) 47-1702

FIOR & GENTZ
ORTHOPÄDIETECHNIK MIT SYSTEM

既存のAFO	ニューロスイング	ニューロスイング特性
 アライメント調整できない	 アライメント調整できる	装具自体のアライメント調整 - 歩容が変化した場合も容易に再調整が可能です。
 軸がずれる	 軸がずれない	確立された軸 - 生理軸と機械軸のズレがありません。 - 筋群の正確な活性化が期待できます。 - 足にシェルがフィットします。
 底屈方向へ可動しない	 底屈方向へ可動する	底屈方向への可動 - ヒールロッカーで他動的に足関節を底屈方向へと導きます。 - 前脛骨筋が遠心性収縮をおこないます。 - 運動のインパルスで正しい脳の接続を確立します。 
 ヒールロッカーがない	 ヒールロッカーがある	ヒールロッカー - 設定した底屈調整範囲内で可動します。 - 受動的底屈が可能です。

既存のAFO	ニューロスイング	ニューロスイング特性
 可動域の調整ができない	 可動域の調整ができる	可動域の調整 - 可動域制限がある場合、制限したい場合に調整できます。 - 完全なロックも可能です。
 スプリング力が弱い	 スプリング力が強い	強いスプリング力（皿ばね） - 強い負荷に耐えられます。 - 強力なプッシュオフへの動力源になります。（エネルギー蓄積）
 スプリングの種類がない	 スプリングの種類が豊富で変更ができる	スプリングの変更 - 強力なスプリングであり、かつスプリング力を変更することが可能です。
 ハードストップ	 ソフトストップ	ソフトストップ - 皿ばねによる衝撃緩衝は、痙性の悪化を防ぎ改善を促します。